

地球温暖化対策計画書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	株式会社 丸栄
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市中区錦三丁目23番18号
工場等の名称	ニューサカエビル
工場等の所在地	名古屋市中区錦三丁目23番18号
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	貸事務所、貸店舗
計画期間	令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 地球温暖化対策計画書の公表方法等

公表期間	～ 令和7年3月31日		
公表方法		掲示 閲覧	(場所) ニューサカエビル4階 株式会社 丸栄 不動産部
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-746-9743		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

当社は、地球温暖化対策をはじめとする地球環境保全の重要性を認識し、事業活動を通じて温室効果ガスの排出抑制等に取り組みます。

1. 省エネルギー活動の推進

事業所で使用する電気・燃料等のエネルギー使用量を令和6年度までに令和3年度の3%の削減に取り組みます。

2. 廃棄物の発生抑制およびリサイクルの推進

廃棄物の発生を抑制します。

3. 従業員への環境教育

従業員へ対して環境教育を進めます。

4. 管理会社との環境保全の推進協力

管理会社、委託会社との連携協力し、環境保全の推進、省エネルギー対策を進めます。

(2) 地球温暖化対策の推進体制

4 温室効果ガスの排出の状況

基準年度（令和 3 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1, 244	t-CO ₂
① （温室効果ガス 換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		1, 244	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
温室効果ガス 総 排 出 量	1, 244	t-CO ₂	1, 207	t-CO ₂	3. 0	%

項 目	基準年度 令和 3 年度 排出量（実績）		目標年度		令和 6 年度	
			目標排出量		目標削減率	
原単位あたりの 排 出 量		CO ₂		CO ₂		%

（2）目標設定の考え方

温室効果ガス総排出量を毎年1%削減を目標とする。

- 備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標
省エネルギー、省資源への行動実践 空調	・空調温度管理 ・運転時間の厳守 ・中間期の外気導入による冷暖房負荷の軽減	・空調温度設定の管理 ・熱源機の停止を空調停止の15分前に実施
省エネルギー、省資源への行動実践 照明	・昼休み等、時間外の消灯を徹底	・時間外の消灯を徹底 ・照明器具のLED化
省エネルギー、省資源への行動実践 OA機器	・使用していない事務機器の電源を切る	・コピー機、パソコンの節電モードへの時間短縮
廃棄物の排出抑制	・コピー用紙の利用（両面コピー、裏紙利用） ・廃棄物の分別徹底によるリサイクル促進	・両面印刷が容易にできるコピー機の導入 ・裏紙利用できる用紙はリサイクルボックスへ入れ使用する

指針第 1 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

ア これまでに実施している再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 計画期間における再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用

--

(3) 環境価値（クレジット等）の活用

--

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置

--

(5) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組

--